

審判講習会 参加報告書

平成 28 年 4 月 13 日

報告者 梅田 望

この度参加しました、審判講習会について報告します。

なお、この報告書が、審判委員会ホームページ等に掲載されることを了承します。

講習会名 (大会名)	東日本大震災復興支援 JX-ENEOS 第47回全国ミニバスケットボール大会
参加者 (報告者)	梅田 望 (所属カテゴリー) ミニ連
期 日	平成28年 3 月 27 日(日) から 平成28年 3 月 30 日(水)
会 場	国立代々木競技場第一体育館・第二体育館
講 師	中山 泰夫氏・吉田 正治氏・渡邊 諭氏・小坂井 郁子氏
参加者	審判委員長・委員18名、派遣審判委員97名 合計115名
報告① <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技講習 レ ゲーム (該当に レ)	<input type="checkbox"/> ゲーム 主審 澤井 浩史氏(鳥取県) 副審 梅田 望(報告者) コート主任 宮里 両氏(兵庫県A級) ■講習内容 及び ミーティング内容 岐阜県 対 山梨 <女子> 初日ということもあり、どのようなプレーをしてくるのかお互い分からないため、エリア分担のみの確認をした。個人としては、プレーを予測し、しっかり足を運んでスペースを見に行こうと挑んだ。 主任から、コーターごとの選手の質の変化・戦い方の変化を早く察知すること、それを相手審判と擦り合わせる作業を早くするようにとアドバイスいただいた。審判同士の感じた事が違うと、プレーに対しての危機感が合わず、状況にあったレフェリングができないと感じた。ゲームにマッチする笛を二人でつくっていく難しさを痛感した。
報告② <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実技講習 レ ゲーム (該当に レ)	<input type="checkbox"/> ゲーム 主審 小山 貴史氏(岩手県) 副審 梅田 望(報告者) コート主任 山岡 忠氏(神奈川県A級) ■講習内容 及び ミーティング内容 宮崎県 対 長野県 <男子> お互いの責任エリア、アウトバウンズの協力など細かく確認してゲームに挑んだ。 主任から、トレールの動きで、斜め45度から見ようとしているのが伝わった。しかし、動き方がプレイヤーのような動きになっていると指摘があった。角度を変え3か所を見るようにするとオールウェーズムービングがスムーズにできるようになるとアドバイスをいただいた。 ファールについて、ベンチからのクレームはなかった。しかし、各審判が意図して判定していることは分かるが、相手審判が吹いたファールの種類を確認して、お互いの笛を擦り合わせたほうがよかったものがあったと指摘していただいた。

所感	<p>今回初めて全国大会に参加させていただきました。</p> <p>選手のために、その笛は本当に合っているのか、コールに行ったときに何回目のファールを吹いたのか確認すること。個人がすべきことプラス、相手審判とのすり合わせの作業、プレーの質の変わり目を察知する能力、ベンチの管理(コーチから選手を守ることから逃げず、戦わなければならない時もある)など全てにおいて気を配ることを実践していかないといけないことを学びました。</p> <p>全国大会に、2度・3度と参加できるような取り組みをしていき更にレベルアップできるようにしていきたいと思います。</p> <p>このような経験をさせていただいたことに感謝しております。今後ご指導宜しく申し上げます。</p>
-----------	---

※ 原文のまま、ホームページ等に掲載されます。

※ 用紙が足りない場合は、各自追加してください。